



海と観光

これからも、海と。

沼津市長 頼重秀一

本市は、豊かな自然と多彩な歴史を持っています。島郷海岸の風光明媚な景観を皇室の方々が愛したことや、多くの文人墨客が沼津の海や海岸で創作・執筆に勤しんだことから、沼津の海は多くの人とともに文化を育んでいったことが伺えます。先人たちだけでなく、市民の皆さんも海を眺めていると穏やかな気持ちになることでしょうか。沼津の海は市民の皆さんを、そして市外の人も含めたたくさんの人を繋げてくれます。国際的な観光地として名高い富士・箱根・伊豆の中心に位置し、大都市圏に近いという地理的優位性を有している沼津で、市民の皆さんが愛着と誇りを持って暮らすことができ、市外の人たちからも「沼津に住みたい、行ってみたい」と感じてもらえる、魅力輝くまちにしていきたい。そのために、市内各地域の特性に応じたいろいろな施



おいしい、だから人気。

沼津港周辺には様々な飲食店が軒を連ね、休日ともなれば全国各地から多くの人で賑わう光景がみられます。

沼津で魚を美味しく食べられる理由は、豊富な種類の駿河湾の恵みはもとより、魚市場や仲買人さんの目利きにより、全国から味も鮮度も確かで、良質な魚が集まるため。夏を迎えるこの季節にはアジやイワシ、カンパチなどの回遊魚が旬となり、生しらすなども美味しさの最盛期を迎えます。

沼津港で双葉寿司を営む高島さんは「ありがたいことに全国各地からお客さんが見えられます。うちでは、美味しい寿司を提供することはもちろん、お客さんとのコミュニケーションも大切にしているんです。沼津に来てよかった、また沼津に来たいなって思ってもらえるようにしたいですからね。ここ何年かで外国から見られるお客さんも増えているのでスマホの翻訳アプリが活躍しています(笑)」と教えてくれました。

沼津に住む私たちが、沼津の魚をおいしく食べる。当たり前のように、この上ない贅沢を楽しまししょう。

食べる、だけじゃない港。

年間を通して400万人を超える観光交流客を集める本市のなかでも、大型バスや自家用車など多くの県外ナンバーがずらりと並ぶ活気溢れる沼津港には、ただ食べに行くだけでなく、様々な楽しみ方が詰まっています。サバをはじめ、アジやイワシなど駿河湾で水揚げされる鮮魚はもちろん、全国各地から美味しい魚介類が集まる魚市場では、迫力のあるセリを気軽に見学できるほか、月に1回、セリ見学ツアー(要申込)を開催しているため、仲買人さんたちの真剣勝負を間近で見ることが出来ます。



セリ見学については、沼津魚市場 055-962-3700までお問い合わせ下さい



また、例年5月に開催される一大イベント「水産祭」は漁船の体験乗船やセリ市体験など5万人を超える来場者で賑わいます。他にもジャズの生演奏と美味しい食事を楽しむ「ぬまつ港の街BAR」や、チャリティーイベントであるライジングガンマフェスティバルなど、港周辺は市内外の多くの人に海よさと沼津のよさを感じてもらっている舞台となります。

大型展望水門「びゅうお」の展望回廊からは見慣れた景色もより美しく見えるかもしれません。皆さんも、沼津港の魅力を残すことなく楽しんで下さい。

策に取り組んでいきます。なかでも、本市が誇る海を活かしたまちづくり、海を活用した観光や産業などは大切な要素だと捉えています。

観光の分野では、サイクルツーリズムや、美しい海岸線を活かしたマリンスポーツなど「スポーツのまち、沼津」を推進していくうえで、海を十分に活用していくことも重要となります。

地場産業である水産業においても、一次産業としての側面だけでなく、多様なサービスと組み合わせた六次産業化の可能性や沼津港を中心とした交流人口・関係人口の増加に向けた取り組み等、沼津の海を市内外に誇ることのできる沼津の宝として大切にしていきたいです。

沼津の市政を考えるにあたり、様々な視点からみても、海なしには語れない部分が大きく、海の存在感の大きさを改めて感じます。

夏生まれの私は、海をより身近に感じることでこの季節が大好きです。また、海は沼津の誇りであると考えています。市民の皆さんも沼津の海をもっと楽しんで下さい。そして、私たち沼津市民が先頭をきって、沼津の海を大切にしていきたいです。